

2019年4月28日(日)

東アジア文化都市 2019 豊島パートナーシップ事業
「楽器でつむぐ東アジアの未来」

ワークショップ「世界の弦楽器を弾いてみよう！」

「楽器でつむぐ東アジアの未来」(東アジア文化都市 2019 豊島パートナーシップ事業・東京音楽大学附属民族音楽研究所主催)の事業の一環として、広く一般から参加者を集めたワークショップ「世界の弦楽器を弾いてみようー日本・中国・韓国・ヨーロッパの弦楽器ー」が開催されました。2回(13:00-14:30・15:00-16:30)とも定員50名の募集に、小さい子どもたちと一緒にご家族連れやお友達同士など多彩な方々がとても楽しく参加してくださいました。

プログラム第1部「世界の弦楽器を聴き比べてみよう」では、おことの仲間の弦楽器(日本の箏・中国の古筝・韓国のカヤグム)と、弓で弾く弦楽器の仲間(中国の二胡・ヨーロッパのチェロ)を講師の演奏で聴き比べました。同じ形の楽器、同じ弾き方の楽器でも、国によってこんなに違った音楽が生まれることを興味深く感じとっていただきました。第2部は「楽器を実際に弾いてみよう」コーナーでした。一人の方が3つもの楽器にチャレンジする等大賑わいでした。最後には受講者が講師と一緒に、《さくらさくら》《茉莉花》《アリアン》など習った曲を演奏発表し、音楽をとおしての多文化理解につながる企画となりました。

(東京音楽大学附属民族音楽研究所)



